

書 滲



「外地」図書館の中で、北京近代科学図書館は「日本」を紹介する図書館として、「圧倒的にきめの細かい、よく整備された」ソフトにしつらえられた文化侵略の図書館（岡村敬二）であった。

二月二日 第四十号

日本語に関する感想

著者 藤南 昌

藤南 昌 著「日本語に関する感想」は、著者の日本留学経験に基づいた、日本語学習の心得や、日本文化の理解に関する貴重な見聞が記されている。著者は、日本語の独特な表現や文法を、外国人の視点から丁寧に解説し、読者に親しみやすい語り口で伝えている。また、日本社会の風土人情についても、言語を通じての観察眼が随所に窺える。本書は、日本語を学ぶ者にとっても、日本文化を知る者にとっても、大変有益な一冊である。

五月十一日 第五十号

梅田司書 追憶の頁

梅田 司書

梅田司書は、本館の発展に多大の貢献をされた方である。その生涯を通じて、司書としての責任感と情熱を遺憾なく発揮された。本書は、梅田司書の思い出や、彼が関わった本館の歴史について、追憶の頁として記されている。梅田司書の業績や、彼が培った本館の伝統について、後継者がしっかりと受け継ぎ、発展させていくことが望まれる。

五月一日 第六十号

児童感想作文

本館外館児童書

児童の感想作文は、本館の活動が子どもたちに与えた影響を垣間見ることが出来る。子どもたちは、本を通じて新しい知識や考え方を学び、それを自分の言葉で表現している。作文からは、子どもたちの好奇心や想像力が溢れ出ており、本が彼らの成長にどれだけ貢献しているかがよく分かる。本館として、子どもたちの読書意欲をさらに引き出し、創造性を伸ばすための取り組みを続けていく必要がある。

五月三日 第四十号

臨時政府教育部 祝辭

總長 湯爾和氏 祝辭

足跡物技 大地回春 一同和奮 文質彬彬
普通言語 親仁善鄰 學術精研 日新又新
樂業教業 相應同聲 以身作則 善誘循循
學成教用 邦國之美 勉勵努力 奮志騰程

今日この榮えある卒業式の演をかりまして一言諸君の光輝ある前途を祝します。



本館日本語學校師範科卒業式

五月九日 第六十号

閱覽統計

本館 圖書部

本館の読書活動状況をまとめた統計表。縦軸には月、横軸には種別（児童書、青年書、成人書）があり、各セルには読書回数や冊数などの数値が記載されている。また、右側には「外借文庫活動状況」の表があり、貸出冊数や返却率などのデータが示されている。

上海日本近代科学図書館

- † 北京近代科学図書館と同様に 1936 年、「対支文化事業」（「東方文化事業」）の一環として上海共同租界に創設された図書館。
- † 工学・産業関連の図書館資料の提供を中心とした図書館サービスにより、日中間「相互理解・相互融和」を促進することが目的。
- † 鈴木賢祐、森清（もり・きよし）、楠田五郎太ら青年図書館員聯盟を代表するメンバーがその運営を担当。

華中鉄道図書館

- † 1939 年に設立された国策会社華中鉄道株式会社（本社：上海）に附設された会社図書館。上海日本近代科学図書館を退いた森清が運営担当。
- † 本館は、社業の参考図書館として、また華鉄職員の福利厚生のために設けられた図書館で、いわば満鉄図書館の華中版。

上海日本近代科学図書館

新到書籍快報

第 2 期

本館前出之「快報第一期」曾博得中國智識階級意外之好評、且因閱讀上之利便、而渴望發行續版者頗形踴躍、益證中華人士對於研究日本文化之熱心、此本館引爲無上欣幸、而深感所負使命之益加重大也、茲將諸君所熱望中之「第二期」奉上贈閱、尙希多々利用之、毋任企盼。再者、本館除此目錄外、復藏有研究日本文化之各貴書籍二萬餘冊、而其他如報紙、雜誌等類、亦多收羅豐富、歡迎諸君免費閱覽、尙尙仕女、盍興乎來!!

- 五月分の新着圖書をお知らせします、どうぞ御利用下さい
- 館外借出は簡単な手續でどなたも自由に出來ます
- この外各種の御調査御研究の爲に立つ圖書もあります

5 月 度 利 用 者 数

中國人 5,274人 日本人 3,135人 外國人 42人 一日平均 291人

上海日本近代科学図書館

上海四川路149號 (電話14854)

在上海・日本近代科学図書館館報

江 風

第 二 年 第 四 號

日本の文化を學ぶよとの熱意に燃えてゐる中國の人々、そして又教養と趣味を欲してゐられる在留邦人の爲に當館は開放せられてゐるのであります。
『江風』はさうした人々のために良き手引となることを信じます。

本館本爲一般需要研究日本文化之中華人士及一般欲增加教養及趣味的國人所開放の！吾人相信這本「江風」能够當爲這種人士之領導者。

昭和 16 年 度 5 月 分 利 用 者 数

種 別	中國 人	日 本 人	外 國 人	計	一 日 平 均
圖書閱覽者	2,942	2,254	17	5,213	173.77
逐次刊行物閱覽者	4,254	2,751	73	7,078	235.93
讀書相談		25		25	0.83
紹介幹旋	13	22		35	1.16
其 他	9	26		35	1.16
計	7,218	5,078	90	12,386	412.85

帶 出 御 案 內

- 十日間(一冊) 十 錢
- 三ヶ月定期券(二冊宛) 一 圓
- 六ヶ月定期券(二冊宛) 一圓五十錢
- 一ヶ年定期券(二冊宛) 二 圓
- 一ヶ年特別券(二冊宛、總館分館共通) 五 圓

○館内の閱覽は無料です。 ○除借出外概不收費

在上海・日本近代科学図書館

總館 上海四川路149號(電話14854)
分館 北四川路福德里32號(青年團本部內)電話(02)6060
開放時間 總館上午八點半起下午八點鐘止・分館上午九點鐘起下午五點鐘止

江 風 情 報

戲劇・電影展覽會之照片



演劇映畫展覽會 日本の文化面を紹介する本館の連載「日本文化展覽會」第二回は、日本の演劇と映畫が選擇され、四月九日より十三日までの五日間、本館の閱覽室に於いて開催された。五日間の入場者の總數一、三五九人、(内中國人一〇、四五一人、日本人八五一人、外人五七人)一日平均二、二七二人といふ記録的盛況を以て終了した。本展覽會が意外にも一般大衆の興味と日本文化面への關心を持たしめるのに役立つことは本館の意外の幸であつた。同本展覽會には餘興として日本文化、風俗、科學等を紹介するための、文化映畫、現代の日本、日本の小學校、夏の日本、スゴッ日本、在日華僑之生活等を映寫して一般の觀覽に供した。

演劇映畫展於蘇州開催 上記展覽會は上海での好評に鑑み、本館では更に之を蘇州にて開催する計畫を擲て、去る五月五、六日の兩日、蘇州玄妙觀の中山堂に於いて開催した。蘇州でも予想外の好成績にて二日間の入場者は一、四八七人、内中國人一、四五六人、日本人三一人の多數に達した。

附屬日語學院開校 本館附屬日語學院は四月十三日第七期の開校式を舉げた。今期の入學者は總數五五二人で初級二六九人、中級一五九人、高級五七人、特級三〇人であつた。

開放時間繰上 從來午前九時に開館してゐた本館は四月一日より午前八時半に、午前十一時に開館してゐた虹口分館は午前九時に、それぞれ三十分間前時間を繰上げた。尙本館の時間は夏季時間を採用してゐる。

戲劇・電影展覽會

本館爲介紹近代日本文化思見既に連載創辦日本文化展覽會至於第二次把日本の戲劇與電影訂於自四月九日至十三日止間在本館内已經開過此五日間の參觀者計一、三五九人之多内中國人首推其一〇、四五一人日本人八五一人外國人五七人一日平均有二、二七二人入場者竟呈空前未有之盛況也於此本展覽會實有能够引起一般大衆之興趣而可能俾益諸君對於日本文化之願大關心此確實是本館所破無上榮幸之幸矣展覽會中亦有甚爲餘興每日放映有名日本之文化、科學、風俗等文化影片如現代的日本、日本之小學校、夏天在日本、日本之體育運動、勝日華僑之生活等頗得大衆之好評予指致。

戲劇・電影展移在蘇州開催

本展覽會在上海開幕の時長引起異常好評因此本館預備將此移轉蘇州開辦於五月五、六、二日兩日地點蘇州城內玄妙觀中山堂內再開。

在蘇州亦承蒙各界非常歡迎觀者紛紛擁擠前來參觀兩日開參觀人數已達一、四八七人之多(内中國人占有一、四五六人、日本人三一人)也。

附屬日語學院現已正式上課

本館附屬日語學院訂於四月十三日已舉行第七期入學典禮此次入學者達有五五二人各級人數即初級二六九人中級一五九人高級五七人特級三〇人也。

開放時間各已推上

本館從前是上午九時開館從四月一日起改上午八時半開上午十時開館的虹口分館是改上午九時開各有改變開放時間予上例現在本館是採用新鐘點專此特告

「上海編」ならではの特徴……

- 一、戦前の図書館界で重要な位置を占める青年図書館員聯盟のメンバーが、戦時期上海において、積極的な図書館活動を展開。
- 二、圧倒的な先進・革新性をもった活動ならびに実践は、敗戦後復興期の日本の図書館、またその後の図書館活動にもつながるものと評される。
- 三、分類法や目録規則など資料組織化に関する理論面での貢献に言及されることが多い青年図書館員聯盟。本書では具体的な実践面での取組みを紹介・収録。
- 四、図書館へ人々を誘うための企画展示・広報。館内での自由接架を可能にする環境形成、巡回文庫派出や個人貸出という積極的な資料提供など数々の「図書館の大衆化」を図る技法・取組の実施。



楠田五郎太
(本書解題より)

在上海日本近代科学図書館附屬

中日讀書俱樂部一覽

- ◎事務所 上海四川路149號在上海日本近代科学圖書館館内
虹口事務所上海北四川路福德里32號(青年會館内)虹口分館内
- ◎會長 上海日本近代科学圖書館々長 上崎孝之助
- ◎幹事長 上海日本近代科学圖書館總務 楠田五郎太
- ◎幹事 上海日本近代科学圖書館司書部長 鈴木正次
全 上 虹口分館部長 加藤春男
中日讀書俱樂部企畫宣傳部長 三浦美代壽
全 上 總務部長 山崎昇一
- ◎評議員 第一區 大泉勝美(中國通信社) 南郷忠憲(八木洋行)
第二區 大藪輝雄(大亞公司) 住田せい子
第三區 關岡三次郎
第四區 井上政男(江南産業) 池田左津子(江南産業) 清水光利(民團) 東礼次郎(北海道興農社)
第五區 小堀眞子 中村三洲男(華中蠶絲) 若林正二(華中水電) 藤野重義(上海電話總局)
第六區 小池武夫(華中電氣通信) 大和田祐二(興亞院)
第七區 長谷川林造(華中印書局) 那須秀次(福昌公司) 松石正樹() 横山誠(東亞酒精飲料)
- ◎會員 上海全地域にわたつて獲得せる會員に當初760名であつたが多少動搖あるて現在會員數688名、となつてゐる(11月20現在)
- ◎配本 全市七區分し日曜日より土曜日まで毎週巡回勤務先又は自宅に配本車にて配本してゐます
月曜日 團體配本(同仁會病院・同支部・居留民團・華中水電・興亞院・同氣象台・電話總局)
火曜日 租界中心區(舊英租界)
水曜日 虹口南區(蘇州河北文路以南)
木曜日 虹口北區(文路以北、虬江路以南)
金曜日 閘北北區(虬江路以北、寶樂安路餘慶坊ア境界トスル)
土曜日 楊樹浦區(楊樹浦一帯)
日曜日 市中心區(寶樂安路餘慶坊ア境界トソツレ以北)
- ◎配本圖書 上海日本近代科学圖書館の全蔵書又はその一部一を隨時借用し配本します配本圖書の申込は電話(20) 6080へ
- ◎本クラブの事業 事業としては圖書の巡回配本の外企畫宣傳部に於て隨時必要に應じ展覽會映畫會講演會輪談會を催し讀書と併せ教養向上を計る意味にて色々の催物をす11月9日第一回文化映畫會「滿洲を科學する會」を開催した
- ◎本クラブの予算 10月17日第一回評議員會にて上記評議員出席の上滿場一致にて予算案を議決しました最少會員數400人とし予算總額に金二千六百七圓也本年10月より明年3月迄半年の予算です

七月十五日起 二十一日止
每晚從八點到十點
地址
愛多市場
愛多重路490弄

街頭書室開幕
上海近代科学圖書館創辦

民國二十九年

上海四川路149号・上海近代科学圖書館附行

銷夏讀物百種

民國二十九年八月

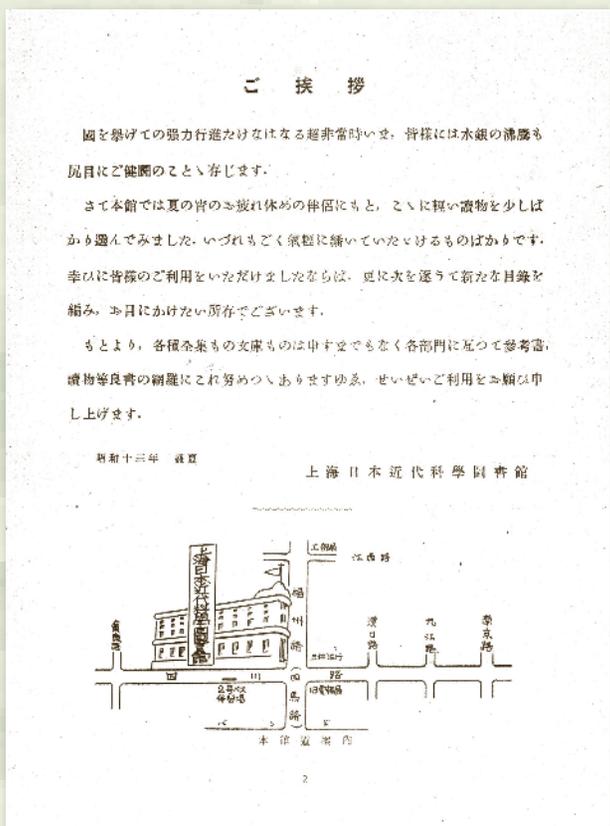
上海日本近代科学圖書館
上海四川路一四九號(電話六〇八〇)

圖書部發行

江風

風

上海での彼らの活動から、「図書館の大衆化」を目指した図書館活動が、戦争や軍事的な占領地支配と共生していたことの意味を考えていかなければならない。



事業成績報告書 昭和十三年度
上海日本近代科学图书馆

目次

○ 引用又は参照符號並に略語……………五

一 經過概要……………六

一〇 經過時……………六

一一 作 業……………八

一二 利 用……………八

二 圖書の蒐集及び整理……………八

二一 選擇及び購入……………九

二二 受 贈……………九

二三 増加圖書及び覽書累計……………一〇

二四 整 理……………一〇

二五 目 録……………一〇

三 圖書館利用狀況……………一〇

三一 施 設……………一一

三二 入 館 者……………一一

三三 新聞閱覽者……………一二

三四 圖書閱覽……………一二

三四一 閱覽人員……………一二

三四二 閱覽圖書……………一二

三四三 中國人の圖書利用……………一三

三五 相談事務……………一四

三六 其 他……………一五

四 圖書館協力……………一五

四一 中國流通圖書館との相互貸借……………一五

四二 目錄ネリツプ配布……………一七

四三 上海図書館人俱樂部……………一七



北平近代科学图书馆正門

戦前期「外地」図書館に関する資料面での本格的基盤整備。

敗戦を迎えるまでの間に現地において／
敗戦後の現地における抑留や留用において／
引揚げ後のこの列島「日本」において、
すべての意半ばにして命を永らえられなかった図書館員、
そして図書館に捧げる資料集。

「外地」図書館は、その地域において図書館活動だけではなく、
教科書の編纂や日本語講座などの教育方面での活動、展示会・
展示会の開催などでも大きな役割を担った。
それゆえ本資料は、戦前・戦後の図書館・図書館員の研究史
のみならず、文学・美術・出版・映画など、様々な「外地」
文化史の研究領域にも寄与できる。

[編集復刻版]

戦前期「外地」 図書館資料集

「樺太編」 全一巻
「北京編」 全三巻
「上海編」 全二巻

「樺太編」一編・解題者紹介

鈴木 仁

2003年佛光大学文学部卒業。北海道文化財保護協会幹事。
著書に「南樺太における図書館の歴史」(『北の文庫』54号、
北の文庫の会、2011年)などがある。

「北京編」一編・解題者紹介

小黒 浩司

1957年生。作新学院大学教授。
著書に『図書・図書館史』(日本図書館協会、2013年)、
論文に「日本における図書館利用者の歴史の変遷について」
(『現代の図書館』50巻3号、2012年9月)などがある。

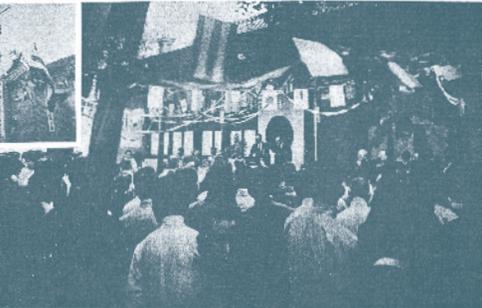
「上海編」一編・解題者紹介

よねい・かついろう

1964年生。公共図書館、大学図書館等に勤務。
論文に「上海日本近代科学図書館の楠田五郎太：上海と
日本の図書館学」『明代中国の歴史的位相：山根幸夫教授
追悼記念論叢』下巻所収(汲古書院、2007年)、「華中鉄
道図書館：森清(もり・きよし)の上海時代」『図書館文
化史研究』23号(2006年)などがある。



本館日本語講習会
日語講習会第二回開校式



北平近代科学图书馆



北平近代科学图书馆前

【予刊】

- 『戦前期「外地」図書館資料集—満洲編』
- 『戦前期「外地」図書館資料集—台湾編』
- 『戦前期「外地」図書館資料集—朝鮮編』
- 『戦前期「外地」図書館資料集—沖縄編』

Kanazawa Bumpokaku 金沢文圃閣

〒920-0867 金沢市長土堀2-16-30
Tel 076-261-8884 Fax 233-3111

□書店様へ…ありがとうございます
直接小閣までお申し込みください

図版はすべて本書より
価格は税別 045/07/3000



西城分館児童遊室